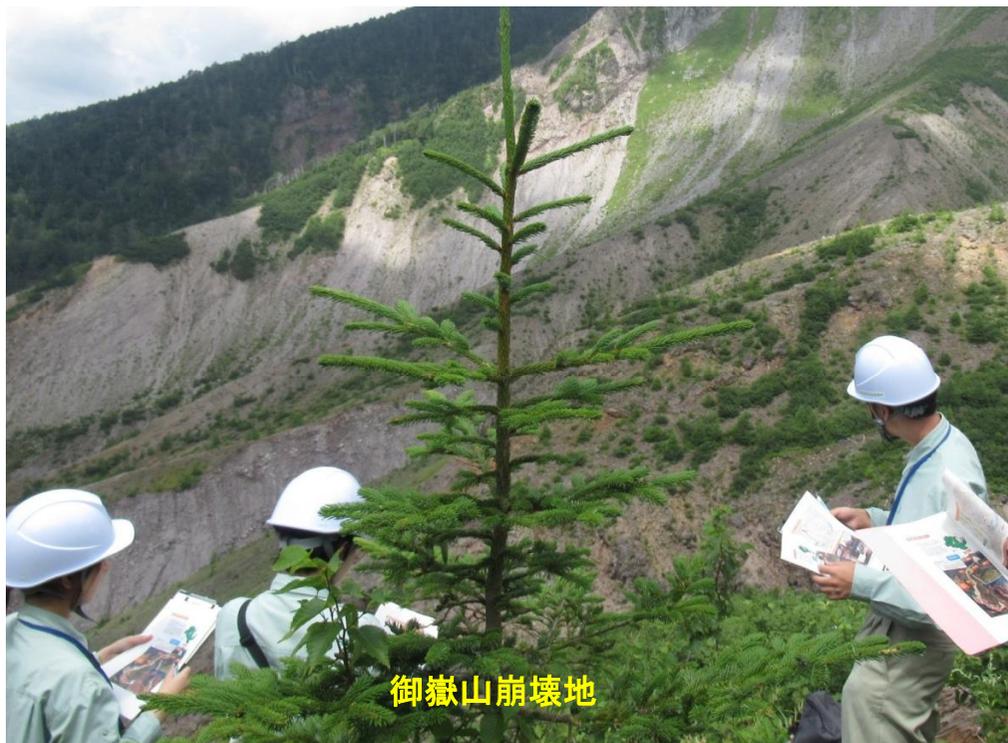


# キャンプ砂防2026 in多治見

～地域に残る災害の記憶を体感し、木曾・東濃の歴史と文化に触れ、背景から砂防を学ぶ～



## 【前回(キャンプ砂防2024in多治見)の実施内容】

- ◇砂防施設見学 → 浦山第2砂防堰堤(登録有形文化財)、雲五川床固工群、浦川第2砂防堰堤(施工現場)、四ツ目川遊砂工 等
- ◇現地視察 → 御嶽山崩壊地、自然湖 等
- ◇文化施設見学 → 天白公園(蛇抜けの碑、桃介橋)、妻籠宿、馬籠宿、多治見市モザイクタイルミュージアム 等



## 実施概要

### (テーマ)

長野県西部地震、梨子沢土石流、御嶽山噴火等、度々、大規模災害に見舞われてきたこの地域に残る被災の記憶を体感し、木曾・東濃の歴史と文化にも触れて、砂防関係事業の役割について、その背景となる事象から学び、理解を深める。

### (期間)

令和8年8月3日(月)～令和8年8月7日(金)

### (箇所)

庄内川流域砂防 → 岐阜県多治見市、土岐市

木曾川流域砂防 → 岐阜県中津川市、長野県南木曾町、大桑村、上松町

御嶽山崩壊地 → 長野県王滝村

前回の実施状況 (カリキュラムの内容は各回で異なります。予めご了承ください。)

1日目

座学で基礎知識を確認し、文化財の堰堤を見学しました。



2日目

「災害の記憶」をテーマに、長野県西部地震時の土砂崩れの結果生まれた自然湖や伝承の施設を巡りました。



3日目

御嶽山崩壊地、堰堤改築の施工現場を視察しました。



4日目

四ツ目川遊砂工にて、ドローンの実技演習を行いました。



5日目

最終日にアウトプットすることで、理解を深めました。



(参加者の声)

- ・今まで砂防について学んできたことを実際に見て理解を深めることができた。
- ・崩壊地や自然湖は写真より雄大で美しいが、同時に災害の恐ろしさを感じた。
- ・砂防施設整備は、自然環境にも配慮して行われることを知り、好感を持った。
- ・地域を想って行われている砂防事業の仕事にやりがいを感じた。
- ・砂防だけでなく、保全対象の文化施設見学もカリキュラムに組み込まれていて、この地域の魅力に触れることができた。
- ・現場では専門家から話を聞くことができ、道中も常に職員の方に質問しながら見学することができ、とても満足している。